

平成21年10月21日

各 位

上場会社名 株式会社やまや
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 山内 英靖
 (コード番号 9994)
 問合せ先責任者 執行役員社長室長 久野 朋美
 (TEL 022-742-3115)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,500	550	500	220	22.31
今回発表予想(B)	53,794	666	696	270	27.37
増減額(B-A)	294	116	196	50	
増減率(%)	0.6	21.2	39.2	22.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	39,416	414	399	146	14.84

修正の理由

当第2四半期累計期間は、いまだ景気回復の兆しは見えず、生活防衛意識の高まりで、お客様の低価格志向が続いております。8月の長雨で、ビール類の出荷量が5年連続で過去最低を更新するなど、酒類の全体需要も低迷しています。こうした中、当社グループは、「より良い物をより安く」を基本に、お客様第一主義を貫き、酒販業にとって、厳しい経営環境に対応してまいりました。

関西を中心に70店舗の酒販店事業を子会社の楽市株式会社、および、スピード株式会社が承継したことにより、売上高は前年比136.5%と順調に推移し、また、既存店では、ビール類の売上を昨年並みに維持し、売上高の前年比は102.6%となりました。併せて、グループを挙げて販売原価、および、販売管理費の逡減を図った結果、利益は、当初計画を上回る見込みです。

なお、第2四半期累計期間における連結業績を昨年対比すると、売上高537億94百万円(前年比136.5%)、営業利益6億66百万円(前年比160.8%)となり、経常利益は6億96百万円(前年比174.2%)、当期純利益は2億70百万円(前年比184.5%)と、増収増益になる見込みです。

平成22年3月期通期の業績予想の修正

通期の業績予想については、消費動向などが依然として不透明なため、現時点で当初予想を据え置きます。今後の動向に応じて、業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示することといたします。

(注)上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上